



■一般廃棄物最終処分場の整備について 5会場で説明会

市など6市町村でつくる穂高広域施設組合（管理者・平林伊三郎市長）はこのほど、一般廃棄物最終処分場の整備についての説明会を市内5会場で開催しました。

計画されている施設は、屋根に覆われ、埋め立て地を遮水シートなどで包む「被覆型処分場（クロードシステム）」で、埋め立ての期間は、15年間を想定しています。

6月24日に堀金総合支所で行われた最終日には、地元住民ら約40人が参加。候補地の選定理由や設備に対する質問などが出されました。これらの質疑と回答の概要については、同組合ホームページ <http://www.aanc-tv.ne.jp/hotaka-c> に掲載されています。



堀金総合支所での住民説明会（6月24日）

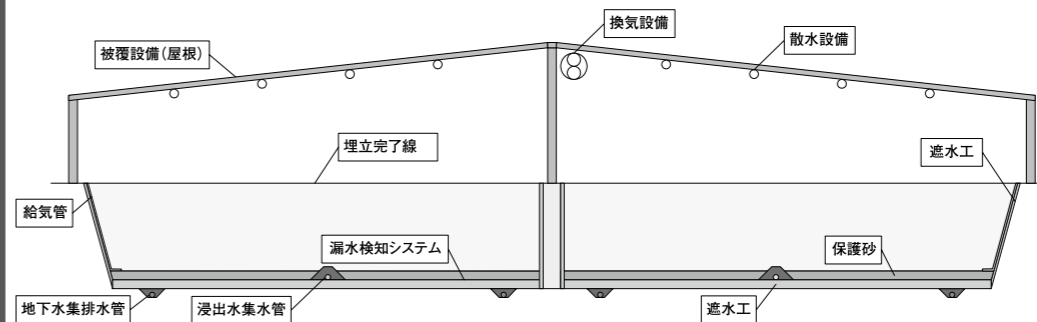
被覆型処分場とは？



被覆型処分場の断面事例

屋根や人口床基盤などで埋め立て地を覆うことにより、埋め立て廃棄物の飛散や雨水の浸入を防ぎます。平成10年に国内第1号の施設が完成し、全国で50施設の実績があります。

現在、一般廃棄物最終処分場の発注件数の3割から5割を占めている施設です。



被覆型処分場の断面イメージ

■乗り合いタクシー「あづみん」が国土交通大臣表彰受賞



金子一義 国土交通大臣から表彰状を受け取る市長(左) (7月8日)



感謝状の贈呈式にて(7月10日)

国土交通省が本年度創設した地域公共交通活性化・再生優良団体大臣表彰の表彰式が7月8日、東京霞ヶ関の同省で開かれ、乗り合いタクシーあづみんを運行する「安曇野市地域公共交通協議会」（会長・平林市長）など5団体が金子一義国土交通大臣から表彰を受けました。「あづみん」は全国でも少ない、人口10万人規模のデマンド交通システムであり、そのなかで、利用者数を大幅に増やすなど、地域公共交通の活性化・再生に積極的に取り組んだことが高く評価されました。

これを受け、市では、7月10日、予約管理を行っている市社会福祉協議会と、運行業務を行っている市内4タクシー事業者へ感謝状を贈呈しました。市長は、「多くの市民の皆さんにご利用いただいたことが評価されました。これもひとえに、利用していただく方のため『少しでも良いものになろう』とあづみんにかかわる皆さんが努力したおかげです」と感謝の意を述べました。

市政トピックス

農業委員 40人が当選

任期満了に伴う安曇野市農業委員会委員一般選挙が6月28日に告示され、5選挙区で定数を超える立候補者がなく、40人が無投票当選をしました。任期は平成21年7月20日から3年間で、市の農政の推進に取り組みます。各選挙区の当選者は次のとおりです。(届出順)

●豊科選挙区【定数9】

曾根原勝人（熊倉）、宮下則安（小瀬幅）、堀金勇一（寺所）、中野博昭（上鳥羽）、望月和榮（吉野）、下田正年（真々部）、三原尚徳（中曾根）、村田英雄（徳治郎）、丸山忠彦（踏入）

●穂高選挙区【定数12】

下里宏（柏原）、古畑袈裟勝（矢原）、等々力史記（嵩下）、有賀泰仁（古厩）、中島芳孝（耳塚）、藤原文夫（塚原）、白井芳夫（青木花見）、田中詔二（豊里）、黒岩卓郎（等々力町）、塚田銀稲（新屋）、藤原正三（牧）、矢口孝夫（穂高区）

●三郷選挙区【定数9】

曾根原昭成（南小倉）、中田平男（東小倉）、小松盛次（及木）、小松万人（上長尾）、植原義明（中萱）、塚田 富喜男（北小倉）、細田國夫（七日市場）、三澤豊生（野沢）、千村俊介（楡）

●堀金選挙区【定数6】

塚田茂利（下堀）、宮澤文夫（田尻）、齋藤彰久（扇町）、板花守夫（田多井）、小澤忍（上堀）、尾日向邦彦（岩原）

●明科選挙区【定数4】

沖堅賜（生野）、真島徳幸（塩川原）、青木幹一（南陸郷）、池上洋助（宮中）



当選証書授与式（7月6日）